

名張の古墳時代

1. 名張の昔を知るには、日本全体や、アジアの動を、見ることで名張のことがもっと知れると思います。
2. 別紙配布に名張の主な古墳時代の遺跡。名張の主な弥生時代の各地の土器を参考にして下さい。
3. 弥生時代終末期の墳墓の規模が飛躍的に大きくなって、前方後円墳に発展していく。
3世紀中頃に始まる前方後円墳の時代から前方後円墳が終焉し、八角墳などの古墳になり6世紀末に終焉していく。前方後円墳の時代を古墳時代 色々な古墳があります。
大きさと古墳の形（前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳）によるランク
4. 弥生時代から古墳時代へ日本列島内で人の往来がさかんに行なわれた。
東海地方からの交流・移住 静岡県菊川式土器が名張市井手の城屋敷遺跡からも出土。
千葉県市原に3世紀前半から古墳出現時代にかけての奈良県の庄内式土器や東海式土器が出土。
名張市も多くの遺跡から各地の土器が出土

前方後円墳の起源を考える 前方後円墳はどうして生まれたのか. 名張・伊賀の前方後円墳は

1. 弥生時代終末期の墳墓に出雲地方を中心に中国地方や日本海側の北陸地方までに特殊な四隅突出型墳墓が広がり、前方後円墳の出現で終焉する。
2. 西谷墳墓群 出雲弥生の森に広がる四隅突出型墳墓。福井県清水町 小羽山の四隅突出型墳墓。
3. 楯築墳丘墓 吉備地方の弥生時代後期(2世紀後半～3世紀前半)の双方中円形墳丘墓
出土した 特殊器台と旋帯文石(纏向遺跡の弧文円板と似ている葬送儀礼に使用か)
4. 円筒埴輪の口縁部 時代変遷
古墳時代出現の前には山陰地方や吉備地方の力は強大であったように見える
5. 九州・山陰・瀬戸内で人々の動き 宮崎県日向地域から弥生時代中期ころに瀬戸内西部、広島・山口県の土器や愛媛の土器が相当数の出土。福岡の博多平野にも庄内式・布留式土器が出土
古墳出現前に九州の交流があった
6. 尾張地方の前方後方墳
廻間遺跡(清須市) S字甕が出現
西上免古墳(一宮市)(箸墓より50年ほど前) 2世紀末か3世紀初の築造、最も古い前方後方墳、尾張地方で生まれた前方後方墳が東日本を中心として全国に広まっていった。

畿内周辺の人々の動き

1. 巻向遺跡に各地の土器が出土 (出雲系、吉備系、河内系、近江系、東海系、北陸系、駿河系)
九州系は極く少ない
2. 纏向遺跡出土の鍛冶関連遺物 北九州との技術交流 3世紀後半
3. 崇神天皇の四道将軍派遣は北陸、東海、吉備、出雲を平定
4. 景行天皇は九州平定、さらに倭建命による東国と熊襲の平定

前方後円墳の出現 古墳時代の幕開け 最古級の前方後円墳・・・箸墓古墳

1. 前方後円墳 時代区分
前期 (3世紀中ごろから4世紀後半)、中期 (4世紀末から5世紀後半)、後期 (5世紀末から6世紀末)

2. 前方後円墳の10期編年説

前期～後期を10分割して1期～10期 広瀬和雄の10期編年

1-4期が前期、5-7期が中期、8-10期が後期

1期 前方後円墳構築数 築造年代が不明なものは除いて

九州・筑前 9基 近畿・播磨 8基 近畿・大和 6基 中国・備前 4基 美作 4基

備前 3基 四国・讃岐 4基

1期～3期 大和周辺では

1期 箸墓古墳 3C中・後 2期 西殿塚古墳 4C前 桜井茶臼山古墳 4C初

3期 渋谷向山古墳 4C後 景行天皇陵？ 五社神古墳（奈良市）4C後・5C初 神功皇后陵

行燈山古墳 4C前 崇神天皇陵？ 室宮山古墳（御所市）5C前？

メスリ山古墳 4C前 桜井市高田 摩湯山古墳（岸和田）4C後

前方後円墳が形成される過程 前方後円墳に至る原型

1. 奈良県橿原市の瀬田遺跡 弥生時代終末期（2世紀中頃～後半）円形の墓発見。 2016年5月
前方後円墳の原型か

2. 巻向石塚古墳と巻向遺跡 巻向石塚古墳 出土の弧文円板 楯突墳丘墓出土の旋帯文石の文様と類似

3. 巻向で生まれた前方後円墳

巻向石塚古墳 3世紀前半～中 全長約96（葺石・埴輪無し）弧紋円盤（吉備系の祭祀用遺物）

纏向矢塚古墳 3世紀中頃以前 全長約96（93以上 未調査）（葺石・埴輪なし）

纏向勝山古墳 3世紀前期以降 全長約115（埋葬施設未調査）（葺石・埴輪なし）

くびれ部からU字形木製品 年輪年代測定結果は伐採は210年頃

東田大塚古墳 3世紀後半 全長約120（葺石・埴輪なし）甕棺（周濠周辺から西部瀬戸内系土器）

ホケノ山古墳 3世紀中頃 石囲い木槨埋葬（葺石あり）木材の炭素年代測定結果が4世紀前半

大型壺（瀬戸内系）中型壺（東海系）素環頭大刀 1口画紋帯同向式神獸鏡、

画紋帯神獸鏡、内行花文鏡 他

4. 前方後円墳は桜井市 巻向遺跡で始まった ヤマト政権の確立の課程

3世紀後半は卑弥呼の死の時代

九州では最古の前方後円墳が現れる

1. 那珂八幡古墳（なかはちまん 福岡市博多区）古墳時代初頭・3世紀中ごろ 全長86

2. 前方後円墳が北部九州に複数ある

赤塚古墳（大分県宇佐市）、石塚山古墳（福岡県苅田町）、戸原王塚古墳（同県粕屋町）、

光正寺古墳（同県宇美町）、御道具山古墳（同県糸島市）、原口古墳（同県筑紫野市）など

3. 古墳時代の本格的な始まりを告げる存在 この後に全長280メートルの桜井市・巻向近郊に

3世紀後半築造の箸墓・前方後円墳が現れる。

弥生時代後期～前方後円墳にいたる過程

崇神天皇の四道將軍を派遣

古代の天皇の年代 日本書紀に基づくと、弥生時代～古墳時代の年代を確認

古代天皇の年齢 16代仁徳天皇まではほぼ百歳以上生きていた。

古代の人々は現代の1年を2つに分けて暦を使っていた という「倍暦」の説がある

年の考えが一年に二回の年齢を数える

1. 中国の歴史書『三国志』『魏志倭人伝』に 魏略いわく、その習俗では正月（陰暦）や四節を知らない。ただ春に耕し、秋に収穫を数えて年紀とする。人々は長寿で或いは百歳、或いは八、九十歳の者もいる。
2. 即位年の修正年 推定説を仮説として検討
大仙古墳が仁徳天皇陵、即位 397 年、没年 427 年 5 世紀前期-中期の前方後円墳と年代的に合う。
3. 石上神宮に伝わる七支刀 表裏に銘文 百濟王世子が倭王の為に造った。とある
古墳時代に百濟から倭王に送られた。
広開土王碑 日本書紀の神功皇后の朝鮮半島出兵に符合する

名張と伊賀の周辺の前古墳 前方後円墳

1. 伊賀市に前方後円墳より前に円墳が構築 東山古墳 4 世紀前半 径 21×17m
2. 石山古墳 4 世紀後半 墳丘長 120m 三重県 2 位
美旗古墳群の殿塚古墳 4 世紀末～5 世紀初頭 全長約 90m
御墓山古墳 佐那具町 5 世紀頃 墳丘長 188m 三重県最大の前方後円墳
3. 4 道将軍の一人 3 世紀中の大彦命について
大彦命は阿倍氏（あべうじ、のち安倍氏）は「阿倍（安倍）」・「阿閉臣」等の始祖
（敢國神社の説明より参照）大彦命は 350 年頃第 8 代孝元天皇の長子として大和の国に生まれたと解説

埼玉古墳群の稻荷山古墳出土鉄剣に雄略天皇の名 熊本県玉名郡和水町（当時は白川県）江田船山古墳銀象嵌の銘文を有する鉄刀が出土した。「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王、雄略天皇）」にあてる説が有力
5 世紀後半の雄略天皇の世には関東（埼玉）から九州（熊本）まで支配。

伊賀名張の前方後円墳 さらに

1. 石山古墳出土 家形埴輪 注目点 囲い型埴輪
鞆（ゆき）形埴輪 直弧文いり 楯突墳丘墓出土の旋帯文石 纏向遺跡、石塚古墳の弧文円板 文様に似る
2. 安部氏の拠点 桜井市 メスリ山古墳 4 世紀初頭の巨大な前方後円墳 全長は 250m 以上
日本最大の円筒埴輪（径 0.9m、高さ 2.4m）の出土 三角縁神獸鏡や内行花文鏡
近くには安部文殊院もあり、被葬者として安部氏の祖先に関わる人物としての説がある。
伊賀一宮は大彦命を祭る敢國神社も安部氏とつながり、名張市の安部田も安部氏とつながる。
桜井茶臼山古墳（墳長 207m。3 世紀末か 4 世紀初頃）内部は朱塗り
3. 御墓山古墳 5 世紀初頭 墳丘長 188m 三重県最大の前方後円墳 後円部上に盗掘口
大彦命の墓とも伝わる（伊賀市一之宮の敢國神社祭神）

名張の古墳 前項のほかの前方後円墳

1. 美旗古墳群
初期は殿塚古墳 4 世紀末～5 世紀初頭 全長約 90m
女良塚 帆立貝式古墳 5 世紀前半の築造 全長約 100m
毘沙門塚 5 世紀中頃の築造 全長約 65m
馬塚：県内第 2 位の規模 5 世紀後半とされている。全長 142m
ワカタケルの時代 陪塚 小塚（方墳）、玉塚（方墳）、
貴人塚 6 世紀初頭の築造 全長約 55m
玉塚古墳 出土品 鉄刀 15 本、槍、矛の X 線撮影の調査 古墳時代中期の特徴を持つ

埴輪 家形埴輪 円筒埴輪

殿塚の倍塚 ワキ塚1・2号墳出土品 鎧

2. 名張市内の前方後円墳 3基

- ①琴平山古墳は全長 70mの前方後円墳で、旧名張郡内最大かつ最古の前方後円墳。埋葬施設は後円部にあ
る片袖型横穴式石室で板石を積み上げて構築された持ち送りの強い構造。また括れ部にも横穴式石室
- ②鹿高神社古墳は全長 45mの前方後円墳で、後円部と前方部は南南西に開口する横穴式石室を持つ。
- ③春日宮山古墳は全長 34mの前方後円墳、同じく後円部と前方部にそれぞれ両袖型の横穴式石室を持つ。

3. 名張内の3基の前方後円墳の変遷

琴平山古墳⇒鹿高神社古墳⇒春日宮山古墳

4. 琴平山古墳 出土品 直刀は劔（はばき）の場所に象嵌有り 藤ノ木古墳の太刀の象嵌に似ている
5. 名張出土太刀の変遷
6. 琴平山古墳出土品で兜が出土 豎矧鋌留（たてはぎびょうどめ）という形式
陶質土器（伽耶系）出土

7. その他の古墳

横山古墳群（1-17号円墳）別紙配付資料参照

琴平山古墳の前身母体集団から終焉までの一連の円墳で、出土品は重要

直刀・劔 乳文鏡、ヒスイ、勾玉など

奥出遺跡と古墳 遺跡に合子 宝石箱が出土

上山古墳 14基 7世紀半ば 春日丘団地

小谷古墳 8基の古墳群 古墳時代後期 名張市鴻之台1番町

男山古墳群 7世紀前半から中頃

そのほかの古墳についても別紙配付資料を参考に

遺跡を一点ずつ紹介すると大変な時間がかかります。

この辺りで名張の古墳時代とします。

名張市郷土資料館 にお出かけになっていただければ幸いです。

コロナ対策もよろしくお願いします。

ありがとうございます

主な参照資料

名張市史 資料編 考古、名張市郷土資料館、発掘された日本列島 文化庁、日本発掘 文化庁、他